

令和六年度入学試験問題

国

語

(国語総合・現代文
B・古典B)

三問

令和六年二月二十五日

自 十二時三十分
至 十四時三十分

答案作成上の注意

- 一 この問題冊子には、国語総合、現代文B及び古典Bの問題があります。総ページは十四ページです。ただし、第七ページ、第十一ページは下書き用です。
- 二 解答用紙は一枚（表裏の二ページ）です。解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 三 受験番号は、解答用紙の所定の箇所に、必ず記入しなさい。
- 四 配付した解答用紙は、持ち出ししてはいけません。
- 五 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。
- 六 この問題冊子の裏表紙には、試験時間中に机の上に置いてよいものを記載しています。

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

著作権保護の観点から、公表していません。

著作権保護の観点から、公表していません。

著作権保護の観点から、公表していません。

著作権保護の観点から、公表していません。

(信原幸弘のぶはらゆきひろ『覚える』と『わかる』 知の仕組みとその可能性』による)

問一 二重傍線部 a ～ e のカタカナを漢字で書け。

問二 傍線部①に「著作権保護の観点から、」とある。筆者はどのようなことを否定しているのか。簡潔に説明せよ。

問三 傍線部②「著作権保護の観点から、」とはどのような問題か。条件を明確にして説明せよ。

問四 傍線部③に「著作権保護の観点から、」とある。

- 1 「著作権保護の観点から、公表していません。」とはどのような前提か。その前提が書かれている一文の最初と最後の五字を答えよ(句読点を含む)。
- 2 「著作権保護の観点から、公表していません。」とはどういうことか。理由とともに、説明せよ。

問五 傍線部④に「著作権保護の観点から、公表していません。」とある。モリヌークス問題に

対して「イエス」と答える可能性があるのはなぜか。説明せよ。

問六 傍線部⑤に「著作権保護の観点から、公表していません。」とある。どのような「変容」が起こるのか。変容の順序に沿って説明せよ。

問七 ⑥ に当てはまる最も適切な語を、本文の前半部分から五字以内で抜き出して答えよ。

問八 傍線部⑦に「

」とある。「

用いて説明せよ。

著作権保護の観点から、公表していません。

著作権保護の観点から、公表していません。

「は、どのようにして得られるのか。交響曲の指揮者の例に沿って、「刺激」という語を

第二問 次の文章は、『義経記』の一節である。源義経よしのぶ主従は、源頼朝よりのちとの対決を避け、静しずかを伴い都を離れて吉野に隠れる。頼朝

は、その義経一行を今も追っている。これを読んで、後の問いに答えよ。

著作権保護の観点から、公表していません。

著作権保護の観点から、公表していません。

(『義経記』による)

注 役行者……修験道の開祖。

菩提……煩惱を断つた悟りの境地。

禅師……静の母である磯^{いそのせんし}禅師。

六波羅……鎌倉幕府が京都に置いた出先機関。

取り下されて……つかまつて、都から鎌倉へ送られて。

問一 二重傍線部①③の「れ」について、それぞれ文法的に説明せよ。

例 存続の助動詞「たり」の已然形活用語尾

問二 傍線部ア

著作権保護の観点から、公表していません。

「、イ」著作権保護の観点から、公表していません。

「、ウ」著作権保護の観点から、公表していません。

「、エ」著作権保護の観点から、公表していません。

著作権保護の観点から、公表していません。

「、オ」著作権保護の観点から、公表していません。

「を現代語訳せよ。」

問三

波線部 a の「著作権保護の観点から、公表していません。」は、何を指すか。十字以内で答えよ(句読点を含む)。

問四 波線部 b に

著作権保護の観点から、公表していません。

「とある。ここでは、どのような理由で都へ帰すと静に説明しているか。二十五

字以内で答えよ(句読点を含む)。

問五

空欄 あ

には、文章中の一語が入る。最も適切な語を、この段落より前の文章中の二字で答えよ。

問六

波線部 c に

著作権保護の観点から、公表していません。

「とある。ここで、静は、どうしてほしいと言っているの

か。前後の文章をふまえて、簡潔に答えよ。

問七

波線部 d に

著作権保護の観点から、公表していません。

「とある。静がこのようにしたのはなぜか。三十字以

内で答えよ(句読点を含む)。

問八

著作権保護の観点から、公表していません。

「著作権保護の観点から、公表していません。」が誰を指しているかを明らかにしつつ、Aの歌を現代語訳せよ。

第三問

次の文章は、呉^ご兢^{きやう}が編纂した『貞観政要』政体の一章である。これを読んで、後の問いに答えよ。(設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。)

著作権保護の観点から、公表していません。

注 吳兢……唐の歴史家。六七〇〜七四九。『貞観政要』……唐の太宗と臣下との政治上の議論をまとめた書。

上……天子。ここは太宗のこと。唐の第二代皇帝、李世民。五九八〜六四九。朕……天子の自称。

邪諂……心がねじけて、おべつかをつかう。九重……奥深い宮中。布……分担させる。

卿……君主が臣下を呼ぶ称。存意……気にかける。書……『書経』。魏徵……太宗の臣下。五八〇〜六四三。

清晏……太平で治まっている。臨深履薄……深い淵に臨み薄い氷を踏むように用心深いこと。

曆数……王朝の命運。靈長……威光があつて長久であること。古語……先人の言葉。

聖旨……天子の考え。

問一 二重傍線部 a 著作権保護の観点から公表して b 著作権保護の観点から公表して c 著作権保護の観点から公表して は、それぞれ本文中ではどのように読むか。その読み方を送り仮名も含めてすべて平仮名で記せ。(現代仮名づかいでもよい。)

問二 空欄 に入る語として最も適切なものを、次のア〜オの中から選んで記号で答えよ。

ア 過失 イ 天下 ウ 耳目 エ 安寧 オ 曆数

問三 傍線部① 著作権保護の観点から、公表して を書き下せ。(現代仮名づかいでもよい。)

問四 傍線部② 著作権保護の観点から、公表して を平易な日本語に訳せ。

問五 傍線部③ 著作権保護の観点から、公表して とあるが、具体的に天子のどのような態度のことをいうか。本文中からその内容として最も適当な四字を抜き出せ。

問六 傍線部④「著作権保護の観点から、公人」とあるが、誰が誰をなぜ恐れなければいけないのか、説明せよ。

問七 傍線部⑤「著作権保護の観点から、公人」とあるが、具体的にどのような状況のことをいうか。本文中からその内容として最も適切な四字を抜き出せ。

問八 太宗のいう、国が「著作権保護の観点から、公人」する原因に対し、魏徴は国が「著作権保護の観点から、公人」しない原因をどのように考えているか。両者の違いが分かるように説明せよ。

試験時間中に机の上に置いてよいもの

- 本学受験票
- 大学入学共通テスト受験票
- 配付した問題冊子等
- 黒鉛筆（和歌、格言等が印刷されているものは不可）
- 鉛筆キヤップ
- シャープペンシル
- 消しゴム
- 鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）
- 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しにくいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可）
- 眼鏡
- ハンカチ
- 目薬
- ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）